

プラスAMPで高感度!! ATP+AMPふき取り検査

ルミテスターPD-20 & ルシパックPen活用マニュアル
—医療編—

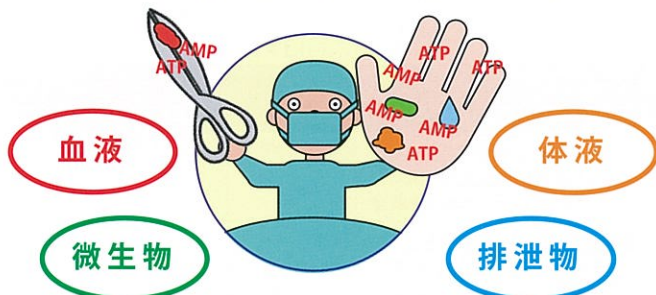
院内感染対策に！ 洗浄・清掃の徹底、改善に！

ATP+AMPふき取り検査とは？

ATP+AMPふき取り検査とは、ATPとAMPの量を測定する検査です。
(特許No.3409962)

医療現場の汚れ(血液、体液、排泄物、微生物等)の中には、ATPとAMPが存在します。ATPとAMPの量が多ければ洗浄不足であり、ATPとAMPの量が少なければ洗浄良好と判定できます。

医療現場の見えない汚れが10秒でわかる！



*ATP (アデノシン三リン酸) は、汚れの指標となる物質
*AMP (アデノシン一リン酸) は、ATPが変化した物質で汚れの指標となる物質

検査に必要な機器・試薬

ルミテスター PD-20

ルシパック Pen

ルミテスター PD-20専用試薬



自信を持って「キレイ」と言えますか？

手洗い教育



環境検査



鋼製小物の洗浄評価

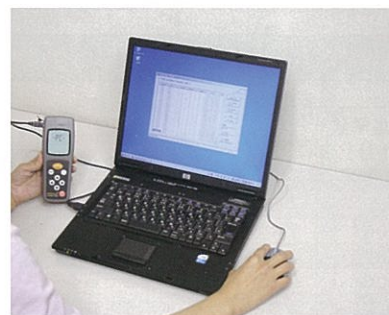


消化器内視鏡の洗浄評価



履歴管理ができます！

洗浄履歴を数値で残す事ができ、
リスクマネジメントにも役立ちます。

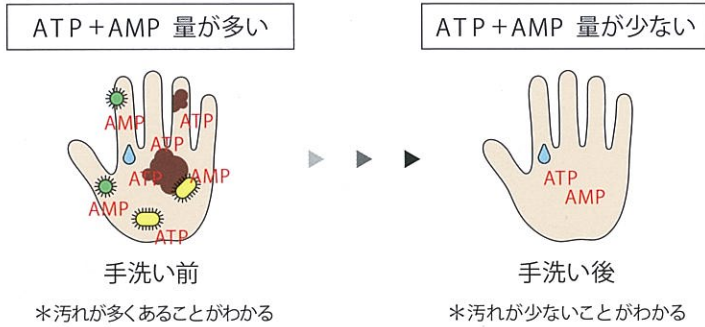


測定日時	測定場所	測定値	判定			
0001	0	A	100	200	1	20000PLA 00 00
0002	0	A	100	200	1	20000PLA 00 01
0003	0	A	100	200	1	20000PLA 00 02
0004	0	A	100	200	1	20000PLA 00 03
0005	0	A	100	200	1	20000PLA 00 04
0006	0	A	100	200	1	20000PLA 00 05
0007	0	A	100	200	1	20000PLA 00 06
0008	0	A	100	200	1	20000PLA 00 07
0009	0	A	100	200	1	20000PLA 00 08
0010	0	A	100	200	1	20000PLA 00 09
0011	0	A	100	200	1	20000PLA 00 10
0012	0	A	100	200	1	20000PLA 00 11
0013	0	A	100	200	1	20000PLA 00 12
0014	0	A	100	200	1	20000PLA 00 13
0015	0	A	100	200	1	20000PLA 00 14
0016	0	A	100	200	1	20000PLA 00 15
0017	0	A	100	200	1	20000PLA 00 16
0018	0	A	100	200	1	20000PLA 00 17
0019	0	A	100	200	1	20000PLA 00 18
0020	0	A	100	200	1	20000PLA 00 19

手洗い講習会

院内感染対策は正しい手洗いから!

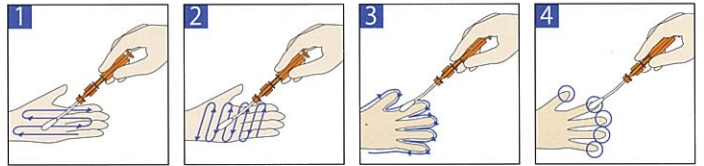
ATP+AMPふき取り検査なら、普段の手洗いの効果をその場で数値で確認できるため、インパクトの強い講習会が実施できます。



検査場所、管理基準値およびふき取り方法(例)

ふき取り方法は次の通りです。指の間、指先など洗い残しが多いとされる部分もしっかりとふき取りましょう。

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ 手指		
手の平(きき手)	1000	手の平全体を縦横5~10往復、指の間、指先をふき取る



環境検査

交差感染の原因になりやすい高頻度手指接触表面を重点的に検査します。

▶ 検査場所の選定方法

まずは、業務中の高頻度手指接触表面が、どの程度汚れているのかを認識するために検査をおこないます。

次に、清掃後に検査をおこない、キレイになったかどうかを確認してください。清掃が不十分な場所(基準値以下にならない)は、汚れが蓄積され落ちにくい状態の可能性があります。検査場所は、汚れやすい場所や汚れが落ちにくい場所を設定すると良いでしょう。



パソコン



ベッド柵



ドアノブ



ワゴン



スイッチ各種

検査場所、管理基準値およびふき取り方法(例)

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ ナースステーション		
ワゴン	200	アーム全体をふき取る
聴診器	200	チェストピース全体をふき取る
血圧計ポンプ	500	ポンプ全体をふき取る
点滴台	500	ハンドル部分全体をふき取る
電話受話器	200	受話器部分全体(内側・外側)をふき取る
パソコン(キーボード)	200	表面全体をふき取る
パソコン(マウス)	200	表面全体をふき取る
冷蔵庫取っ手	200	取っ手全体(内側・外側)をふき取る

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ 病棟		
オーバーテーブル	500	四隅・中央の10cm四方をふき取る
ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る
ベッド柵	200	柵上部3ヶ所(右・中央・左)の10cm幅をふき取る
ナースコールボタン	200	ボタン全体をふき取る
スイッチ各種	200	スイッチ全体をふき取る

その他、手術室、各検査室の診断装置、撮影装置、処置台なども検査対象にすると良いでしょう。

管理基準値は、検査場所の設備状態、材質などで清掃効果に相違がありますので、施設内の環境レベルにあわせて設定してください。清掃後の測定値が管理基準値より高い場合は、再度清掃する又は清掃方法を改善することをおすすめします。

再使用医療機器

鋼製小物・消化器内視鏡などの再使用医療機器類は、非常に高い清浄度が求められています。現在の洗浄方法は正しいか、洗浄装置は正しく動作しているか、不安に感じたことはありませんか。ATP+AMPふき取り検査なら、その場で簡単に洗浄度をチェックできます。ATPふき取り検査法は「鋼製小物の洗浄ガイドライン2004(日本医療機器学会)」に掲載されています。

鋼製小物の検査場所、管理基準値およびふき取り方法(例)

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ 鋼製小物		
凹凸のある部分、ボックスロック部など	100	手で触れている部分以外の全体をふき取る
構造が複雑な機器など	100	手で触れている部分以外の全体をふき取る



▶ 検査のタイミング

検査のタイミングは、洗浄後(乾燥後)におこないます。

▶ 正しく測定をするために

洗浄後(乾燥後)は、ふき取り検査箇所を決して素手でさわらないでください。素手でさわると、手指由来のATP+AMPが付着してしまい、正しい検査ができません。検査の際には、パウダーフリーの手袋を着用することをおすすめします。

消化器内視鏡の検査場所、管理基準値およびふき取り方法(例)

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ 消化器内視鏡		
鉗子チャンネル	100	綿棒が挿入可能な範囲をふき取る
吸引チャンネル	100	綿棒を回転させながら、内部全体をしっかりとふき取る
送気・送水チャンネル	100	
先端部	100	レンズ部と先端から外側1cm程度全体をしっかりとふき取る



鉗子チャンネル



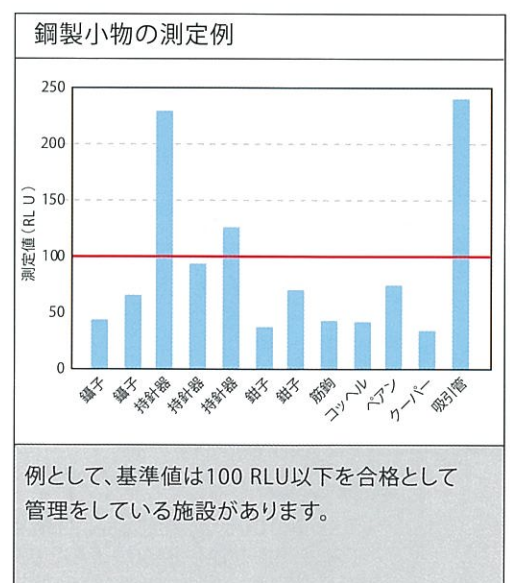
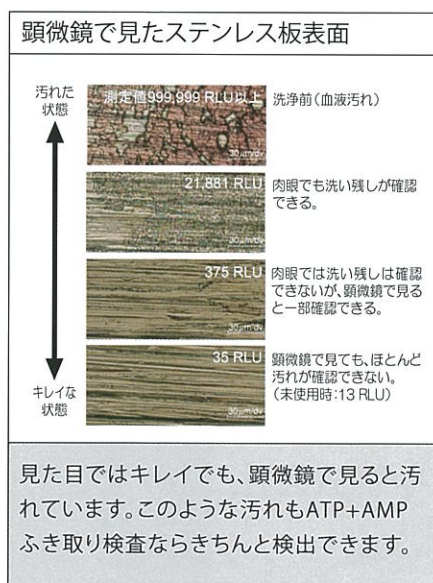
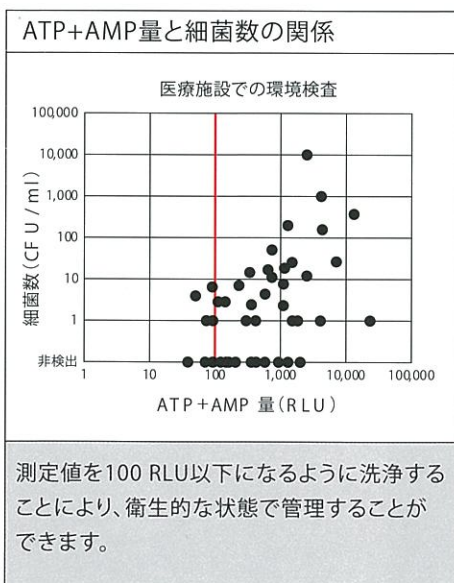
先端部

▶ 検査のタイミング

検査のタイミングは、洗浄後におこないます。

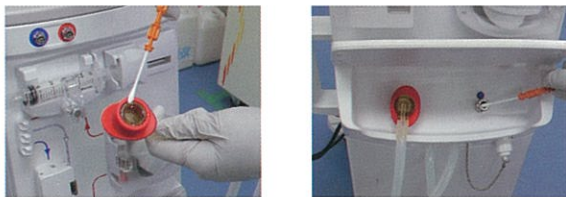
鋼製小物・消化器内視鏡の管理基準値

▶ 管理基準値 100 RLU以下を推奨しています。



透析室

カブラ



手指検査および環境検査



検査場所、管理基準値および ふき取り方法(例)

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶透析室		
カブラ	100	接続部をふき取る
電話受話器	200	受話器部分全体 (内側・外側) をふき取る
パソコン (キーボード)	200	表面全体をふき取る
パソコン (マウス)	200	表面全体をふき取る
▶手指		
手の平(きき手)	1000	手の平全体を縦横5~10往復、指の間、指先をふき取る

厨房

食中毒事故の大部分は、洗浄不良による二次汚染が原因です。検査は、手洗い後や、調理器具などの洗浄後におこないます。洗浄不良をその場で判定し、再洗浄で未然に事故を防ぎましょう。



- ATPふき取り検査法は「食品衛生検査指針微生物編 2004 (厚生労働省監修)」に掲載されています。
- ATPふき取り検査は、HACCPの第一歩です。

検査場所、管理基準値および ふき取り方法(例)

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶厨房		
包丁	200	刃の両面全体と刃の付け根をふき取る
野菜皮むき	200	刃の先端をふき取る
玉杓子	200	取っ手以外全体をふき取る
まな板	500	中心部分10cm四方の縦横をふき取る
野菜ザル	200	中央底部分10cm四方の縦横と上端部分内面1周をふき取る
水道栓	200	蛇口の取っ手全体をふき取る
シンク	200	シンクの四隅角をふき取る
冷蔵庫(取っ手)	200	取っ手全体をふき取る
出入口ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る
盛り付け台	200	中心部分の10cm四方の縦横をふき取る
▶手指		
手の平(きき手)	1500	手の平全体を縦横5~10往復、指の間、指先をふき取る

使用方法

ルシパックPenは、室温に戻してからご使用ください。

① ふき取る



ルシパックPenの綿棒を水道水で湿らせて、検査対象をふき取る。^{*1}

② よく振る



綿棒ホルダーを本体に戻しワンプッシュ。チューブ中間の液を底にふりおとし、粉末の試薬を溶かす。

③ 測定する



ルシパックPenをルミテスターPD-20の測定室に入れて測定。

*1 生理食塩水は使用しないでください。

*2 検査表面にアルコールなど殺菌剤が残っていると正しい測定ができない場合があります。



測定が終わったらルシパック Penは必ず測定器から取り出してください。ルシパック Penを入れたままの状態では放置すると、液漏れなどにより故障の原因になります。

ルミテスター PD-20 (商品コード: 60485)

測定時間	10秒
データ出力	RLU:Relative Light Unit (相対発光量)
データメモリー	2000データ
電源	単3アルカリ乾電池2本または単3ニッケル水素充電電池2本
大きさ/重量	65×175×32mm/約235g(電池別)
付属品	単3アルカリ乾電池2本、清掃ブラシ、スタンド、USBケーブル、ストラップ、クイックマニュアル、CD-ROM

ルシパック Pen (商品コード: 60331)

製品形態	綿棒、ATP抽出試薬、発光試薬を含む一体型検査試薬
包装/梱包	20本入りアルミ袋、5袋で1キット(計100本)
保存条件	2-8℃ 凍結しないこと

- * ルシパック Penはルミテスター PD-20専用試薬です 従来品には使えません。
- * 40本入りのルシパック Pen40(商品コード:60333)もございます。
- * 測定値は従来品ルミテスター PD-10(N)&ルシパックワイドと同じです。

＜ご注意＞

- ※本製品を清浄度検査の目的以外には使用しないでください。
- ※本製品は、一般細菌数測定、または特定の病原性細菌の検出などには使用できませんのでご注意ください。
- ※本製品は、医療用機器ではございません。

製造販売元

kikkoman

キッコーマンバイオケミファ株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1
 TEL: 03-5521-5490 FAX: 03-5521-5498
 E-mail: biochemifa@mail.kikkoman.co.jp
 URL: http://biochemifa.kikkoman.co.jp/

本カタログに記載された内容は、了解なしに変更させていただく事があります。